

国内で初めて開催する Real World Data Japan 2014 に特化したカンファレンスが講演者・プログラム詳細を公開

日本で数々の製薬業界に関する B2B カンファレンスを企画・運営している英国 eyeforpharma 社は、日本で初開催となる Real World Data Japan 2014（今年7月15、16日・東京）の講演者ラインナップや詳しいプログラム内容を公開しました。

本リアルワールド・データ・カンファレンスのポイント：

- グラクソ・スミスクライン、日本イーライリリー、ヤンセンファーマ、エーザイ、MSD など、リアルワールド・データをすでに導入している製薬企業のエキスパートたちがリアルワールド・データを活用したビジネスの可能性を議論します
- 日本医療政策機構からの政府アドバイザーが、医療技術評価（HTA）の最新アップデートや、製薬企業にもたらす影響について情報提供します
- バイエル、ブリストルマイヤーズや大学関連機関からの専門家が、欧米、アジアおよび日本市場のリアルワールド・データ活用に関する実践的な事例を紹介致します
- リアルワールド・データへのアクセスを容易にするために、製薬企業、政府、医師や病院、IT 企業、データプロバイダなどの様々なプレイヤーがどのようなパートナーシップを確立すべきかを検証します
- 患者さんのヘルスアウトカムを向上するために、リアルワールド・データをいかに活用し、どのような具体的な取り組みを実施すべきかを議論致します

16 名以上の講演者と 18 以上のセッションを含む詳細プログラムをイベントウェブサイト (<http://www.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-conference-event-brochure.php>) にて無料にて提供開始。

■ カンファレンス開催概要

日程： 7月15-16日
開催場所： 東京
主な対象者： 医薬品業界の営業・マーケティング・メディカル・開発、その他部門でリアルワールド・データに携わる方々
参加予定人数： 200名
主催： eyeforpharma
ウェブサイト： <http://www.eyeforpharma.com/real-world-data-japan/jp-index.php>

■カンファレンス主旨

欧米の製薬企業はこの 2、3 年間、医薬品の有効性をより深く把握するためにレセプトデータ、電子カルテなどの臨床試験以外で得る「リアルワールド・データ（実際の医療現場での

診療行為から得られるデータ)」（RWD）に注目しています。Health Technology Assessment（HTA）の導入などの大きな変化が予想されている日本でも、製薬企業が RWD 分析のポテンシャルを理解し始めています。RWD を活用し、患者さんのアウトカムを向上するために、製薬企業はどのようなデータを採用・分析し、効果的にどう活用できるか把握する必要性が高まっています。

本カンファレンスでは、製薬企業や政府機関、医療従事者、医療技術企業、データプロバイダの方々をお招きし、HTA の製薬業界に与える影響及び RWD のポテンシャルをどのように発揮できるかについて議論を深める機会を提供いたします。

■ **eyeforpharma について**

eyeforpharma は、激変する医薬品市場にて、医薬品業界関係者が最新の情報や有益な事例を共有するプラットフォームをレポートやカンファレンスなどの媒体を通じて提供しております。

<http://social.eyeforpharma.com>

■ **本件に関するお問い合わせ先**

ステファニー クームズ

Email: scoombes@eyeforpharma.com

UK: +44 (0) 207 422 4343

Fax:+44 (0) 207 375 7576